

理科の目標

自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識を持って観察・実験を行うことにより、問題解決の能力や科学的な見方、考え方を身に付けることです。

評価の観点

- 1 自然の事象に関心を持ち、授業に積極的に参加している。
- 2 課題にしっかり取り組み、科学的に考察を進めることができる。
- 3 観察や実験に意欲的に取り組み、方法を身に付け、結果を表現できる。
- 4 授業の内容を理解し、知識を身に付けている。
- 5 宿題やレポート等にしっかり取り組んでいる。

評価の方法

授業中の態度や参加のようす、発言・発表の様子や内容、観察・実験の技能、ノートやレポート・ワークなどの提出物、中間、期末テストや小テスト、授業道具の準備状況など総合的に評価します。

特色ある学習方法

- 実験・観察の重視
- 視聴覚教材の利用
- 実験プリントの活用
- 調べ学習を入れる（まとめや発表）

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	水溶液とイオン	水溶液の電気伝導性や中和反応について理解すると共にイオンのモデルと関連づけてみる考え方を学ぶ。 生物の成長と増え方、遺伝現象について理解し、細胞レベルでとらえると共に生命の連続性と多様性について理解する。
	酸、アルカリとイオン 化学変化と電池	
	生物の成長と生殖 遺伝の規則性と遺伝子 生物の多様性と進化	
2 学 期	物体の運動	力の基本的な性質を理解し運動の規則性や力学的エネルギーに関わる実験を行い仕事の概念を理解する。 運動とエネルギーの見方や考え方を学ぶ。 身近な天体の観測や地球の運動について考える。また、太陽や惑星の特徴及び月の運動について学ぶ。
	力のはたらき方 エネルギーと仕事	
	地球の運動と天体の動き 月と金星の見え方 宇宙の広がり	
3 学 期	自然のなかの生物	自然界のつり合いについて理解すると共に自然と人間の関わり方について認識を深める。エネルギー資源を有効利用し持続可能な循環型社会を構築するためにエネルギーの変換や保存について日常生活と関連付けて考える。
	自然環境の調査と保全	
	自然の恵みと災害	
	科学技術と人間 持続可能な社会をつくるために	

時間 1学期 週4時間
2学期 週4時間
3学期 週4時間